

公共交通ニュース vol. 34 2016. 1. 20

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

マイカーと路線バス、どちらがお得でしょうか？

バスに乗らない理由として「運賃が高い」ことが必ず挙げられます。自動車での移動と比べて本当にバスの運賃は高いのでしょうか？

マイカーをガソリン1ℓ当たり100円、燃費10km/ℓ、駐車場料金1日500円（1か月10,000円）として比較してみます。

【①飯能駅～小瀬戸バス停間】

この区間は、運行距離7.14km、大人バス運賃は310円（現金）で、往復620円です。

マイカーの場合、片道0.71ℓ、往復で1.42ℓ使ったとすると、ガソリン代が142円、駐車場料金と合わせて642円になります。バスの方がわずかですがお得となります。

【②さわらびの湯経由の飯能駅～名栗車庫バス停間】

この区間は、22.46km、大人バス運賃は680円（現金）で、往復1,360円です。

マイカーの場合、片道2.25ℓ、往復で4.5ℓ使ったとすると、ガソリン代が約450円、駐車場料金と合わせて950円になります。マイカーがかなりお得のようになります。

しかしながら、マイカーの場合は、まず購入費用が必要となります。仮に240万円でマイカーを購入し、10年間使用するとした場合、1年当たりの車両代は24万円、1日当たり約657円になります。ガソリン代、駐車場料金に購入費用を合わせると1日当たり1,607円になります。そのほか、保険代や維持費（車検代、修理費、自宅に駐車スペースがない場合は駐車場代など）も必要となります。また、自分で運転することは交通事故のリスクを常に背負うこととなります。

ガソリン代、駐車場料金の比較だけでなく、車両購入費や維持費等トータルで比較するとバスの方がお得かもしれません。さらに、自宅からバス停、バス停から目的地まで歩くことで、健康づくりにもつながります。

2016年は「環境にやさしく」、「家計にやさしく」、「手軽に健康づくりができる」バス利用にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



「小島喜八郎氏が描いた飯能の風景」を展示しています。

国際興業バスのご理解とご協力により、国際興業バスが発足した当時のカラー（ライトパープルとマルーン）のバスをギャラリーに見立て、写真や小学生のポスターなどを展示しています。12月中旬から“飯能を愛し、見つめ続けた画家”小島喜八郎氏が描いた飯能の風景画を20数点展示し、バス利用者を楽しませています。

小島喜八郎氏が対象としたものは、何気なく普通には見過ごされてしまうもので、一貫して自分の生活圏にモチーフを求めてきました。昭和52（1977）年頃から飯能各地の風景の水彩画を描きはじめ、何点描いたか本人でも覚えていないほどだと言います。今回は、飯能市郷土館で收藏している作品から飯能駅周辺、市営住宅バス停周辺、東飯能駅西口周辺、中郷バス停、東銀座通りなど20数点を展示しています。

国際興業バスをご利用いただき、ぜひご覧ください。土日祝日の運行ダイヤは国際興業バスHPで公開していますのでご確認ください。



利用者が少なくなるとバスの運行は維持できません。廃止されてからバスの必要性に気づいても遅いです。